



子どもの体力低下に対する課題と対策

橋本 利弘

問 学力向上には体力が必要と思うが考えは。

答 有酸素運動を行うことにより大脳の発達が進み、記憶力の向上や体を動かした直後は物事に集中できる時間が長くなる。報告されている。

問 徳・体・コミュニケーションのバランスのとれた子どもを育ててゆく。

答 非認知能力とは目標に向って頑張る力、他人とうまく関わる力、感情をコントロールする力など人間の内面の力を意味している。非認知能力を育むことは大変重要であり、市の目指す子ども像、しなやかに、たくましく、未来を拓く、日高っ子をめざし、豊かな心と健やかな体の育成のため、文部科学省の委嘱研究を通して人権教育を推進し、

問 道徳教育を充実し、ボランティア活動や福祉教育など取り組んでゆく。

答 若い体が老化している。国では生涯スポーツの推進に向け、幅広い世代の人々が総合型地域スポーツクラブの創設や活動基盤強化事業の助成を行っている。市体育協会やスポーツ振興を継続的に活動するNPO法人等と連携し、国の助成制度を活用できるよう情報提供をしてゆく。

問 人生の成功に必要な非認知能力の醸成は。

答 非認知能力とは目標に向って頑張る力、他人とうまく関わる力、感情をコントロールする力など人間の内面の力を意味している。非認知能力を育むことは大変重要であり、市の目指す子ども像、しなやかに、たくましく、未来を拓く、日高っ子をめざし、豊かな心と健やかな体の育成のため、文部科学省の委嘱研究を通して人権教育を推進し、

問 学校現場とNPO法人等の連携による子どもの体力向上の取り組みは。

答 子どもの体力向上に向けNPO法人等の協力は教育効果を上げるうえで大変有意義である。学習指導要領や年間指導計画から逸脱することなく新たな取り組みを行う場

合は、余剰の時間などを活用する必要があり、連携する内容を精査し進める。国では生涯スポーツの実現に向け、幅広い世代の人々が総合型地域スポーツクラブの創設や活動基盤強化事業の助成を行っている。市体育協会やスポーツ振興を継続的に活動するNPO法人等と連携し、国の助成制度を活用できるよう情報提供をしてゆく。



夢の実現に向けて頑張る子どもたち



高麗川駅東地区の整備について

清水 孝晏

問 昨年行われた住民説明会後の事業の進捗状況は。

答 幹線6号の交差点部分の物件補償調査、都市計画道路の予定地の不動産鑑定評価及び用地測量を行った。

問 今年度予定している事業内容は。

答 市道幹線6号の交差点部分の物件調査を実施した地権者の用地買収及び移転補償を予定している。

問 今年度予算の土地購入費及び補償費の対象の内容は。

答 高麗川駅東口通線と幹線6号の交差点改良に伴う交差点部分の拡幅用地の取得及びそれに伴う物件補償を予定している。

問 市道幹線6号から駅前広場までの整備スケジュールは。

答 今年度から幹線6号との交差点部分の用地の取得を始め、交差点から駅に向かう道路右折帯を含む用地の協力を得られた地権者から取得する予定である。

問 東地区を含む、駅周辺の地域は、日高市立地適正化計画でどのような位置付けとなるのか。

答 駅周辺の地域は市街化区域で居住誘導区域となることが想定され、都市機能誘導区域については、今後、病院、商業施設、社会福祉施設等の分布状況を精査し、区域を検討する予定である。

問 駅東口及び都市計画道路の整備が目に見える形で動き出すのはいつ頃か。

答 来年3月末までに幹線6号及び市道B338号線の交差点部分の用地を取得し、工事を実施する時期までは、将来的な道路形態で安全対策を施していく。来年度以降、整備に向けた事業用地を順次取得していくので、事業が、少し進展してきたと感じられると考える。



改良される幹線6号交差点